

令和3年度 学校関係者評価書 (川南町立通山小学校)

評価【4…期待以上 3…ほぼ期待通り 2…やや期待を下回る 1…改善を要する】

項目	評価指標 及び 具体的目標	自己評価		自己評価結果の考察・分析および改善策等	関係者評価		学校関係者評価委員の意見
		項目	総合		項目	総合	
<b>I 町民が生涯を通じて学び、教育に参画する社会づくりの推進</b>							
1	<b>家庭教育支援の充実をめぐる。</b> ①家庭教育学級の充実 ②おやじの会との連携	2	3	①家庭教育学級については、実施内容によって希望が多かったものもあれば、参加者が少ないものもあったため、次年度に向けて内容や参加の投げかけ方の見直しを行いたい。 ②おやじの会については、新型コロナウイルスの感染状況をもとに関係者の方と発足のタイミングを見計らっていたが、発足までに至らなかったため、次年度はぜひ実現したい。	2.5	2.9	・家庭教育学級が何なのか分かっていない家庭があると思う。 ・参加の呼びかけの工夫・ニーズの把握 ・おやじの会が始動できることを楽しみにしている。
2	<b>学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。</b> ①地域の人材・素材を活用した学習や行事等の充実 ②幼・保・中との連携、交流	3	3	①地域人材・素材の活用については、新型コロナウイルスの関係で一部中止や延期になったものがあったものの、概ね計画通りに進められた。本年度、新たに計画に盛り込み、実施したものもあった。 ②中学校とはこれまで同様、情報の共有や交流活動を行ってきたが、幼・保については連携があまりなかったため、年度末から年度初めにかけて連絡会を開催する予定である。	3.3	3.3	・これまでの地域人材、素材の活用実施に合わせて、幼・保との連携に期待している。 ・幼保連携については、ぜひ実現してほしい。 ・児童の作品を地区公民館等で展示したり、地域の人の作品を学校内で展示したりできないか。
<b>II 社会を生き抜く基盤を培い、未来を担う人財を育む教育の推進</b>							
1	<b>読書活動を推進する。</b> ①教科等の学習における図書室の積極的活用 ②読み聞かせボランティアとの連携	3	3	①図書室の図書購入や活用については計画的に進められた。また、委員会活動の取組等により図書室の貸出冊数も伸びてきている。 ②読み聞かせについては、新型コロナウイルスの関係で一部中止することはあったものの、読み聞かせボランティア「ノバセンブラ」のご協力で概ね計画通りに実施することができた。	3.0	3.0	・学力を高めるためには、その基礎の一つである読む力をつけることが大切だと思う。 ・図書、読み聞かせの活用により読む力、聞く力をしっかりつけてほしい。 ・魅力ある図書室、本の配置と展示物の活用
2	<b>確かな学力を育む教育を推進する。</b> ①基本的な学習態度の育成 ②教員の授業力の向上 ③ICTを活用した授業づくりの推進 ④学習の振り返りの指導の徹底	3	3	①年度当初と比べると、全体的には落ち着いて学習に臨めるようになってきている。 ②年3回の重点支援校訪問や校内研修を通して、学習の進め方や活動のさせ方等について改善を行うことができた。 ③タブレットPCの完全配備となった2学期から研修会等を行いながら積極的な活用を進めてきたことにより、多様な活用ができるようになってきている。 ④授業での定着状況をもとに「学びの時間」の内容を設定してきた。保護者への家庭学習の見届けについては、学級単位でお願いしてきたが、今後も学級通信や学級懇談を通して働きかけていきたい。	3.0	3.0	・基本的な学習態度を育成するには、日頃の生活習慣が大きく関係すると思う。話をしっかり聞く訓練が必要だと思う。 ・ゲームの在り方として、推奨ゲーム（レーティングマーク）に沿った学校側からの制限等があるとまた変わってくるのではないかとと思う。 ・ICT機器活用方法の基礎、便利さと危険性 ・保護者による学習見届けの呼びかけ
3	<b>人権を尊重し豊かな心を育む教育を推進する。</b> ①心のこもったあいさつ・返事の実践 ②人権教育の常時指導の充実 ③体験活動を生かした道徳教育の推進 ④いじめ等の早期発見・解消	3	3	①児童の委員会活動を中心にあいさつ運動やあいさつカードの配付等に取り組んできたことで、校内ではあいさつができてきたが、校外でのあいさつは継続的な指導が必要である。 ②悩み調査等をもとにしながら、定期的に望ましい人間関係の在り方等について指導を行ってきた。 ③朝の時間を中心に清掃活動や委員会活動に取り組む児童が増えてきている。今後も継続して声かけを行ってきたい。 ④悩み調査及び教育相談については、計画的に実施し、問題解決の手がかりにするとともに、職員間で情報を共有し、複数で観察できるようにしてきた。	3.3	3.2	・福祉体験学習等の実体験を通して、人権の必要性を学ばせてほしい。 ・あいさつは、促されてするのではなく、自発的にできているのでよいと思う。 ・日常生活、人間関係、体験活動、自己発信のきっかけとしても「あいさつ」が大切だと思う。 ・あいさつ運動の継続 ・児童への声掛けを地域の人に呼びかける（町広報等）
4	<b>特別支援教育を推進する。</b> ①児童一人一人のニーズに応じた支援の充実 ②特別支援体制と関係機関との連携の充実	3	3	①面談等を通して保護者の要望をつかむことに努めるとともに、支援員を効果的に配置するようになった。 ②児童の状況や保護者の要望等をもとに、SSWやSC、特別支援エリアコーディネーター、民生委員児童委員等の専門機関との連携を積極的に図りながら、対応や支援を行ってきた。	3.3	3.3	・学校の体制があることで、保護者の安心に繋がっていると思う。 ・保護者の理解を促す。
5	<b>郷土を愛し地域社会に参画する態度を育む教育を推進する。</b> ①地域の人材・素材を活用した学習や行事の充実【再掲】 ②総合的な学習の時間におけるふるさと学習の充実	3	3	①地域人材・素材の活用については、新型コロナウイルスの関係で一部中止や延期になったものの、概ね計画通りに進められた。本年度、新たに計画に盛り込み、実施したものもあった。 【再掲】 ②総合的な学習の時間の年間指導計画に基づいて学習を進めることができた。	3.0	3.0	・総合的な学習の時間を通して、ふるさと学習の充実を図ってほしい。 ・川南町を知る、自分を知る良い機会だと思う。 ・地域行事が中止・縮小されているため、地域内で住民と触れ合う機会が少ない。見守り活動の強化要
6	<b>キャリア教育を推進する。</b> ①地元企業や人材等を活用した学習活動の推進 ②生き方教室の実施	3	3	①地域人材・素材の活用については、新型コロナウイルスの関係で一部中止や延期になったものの、概ね計画通りに進められた。本年度、新たに計画に盛り込み、実施したものもあった。 【再掲】 ②生き方教室は年間計画に加え、新たな人材による生き方教室も開催することができた。	3.5	3.5	・川南には多くの人材・素材がある。大いに活用してほしい。 ・生き方教室により、子どもの思考力や将来の夢の発達に繋がる良い取組だと思う。 ・地元企業・人材等の活用は更に推進
7	<b>社会の変化に対応した多様な人財を育む教育を推進する。</b> ①ICTを活用した授業づくりの推進【再掲】 ②対話的な学びの実践	3	3	①タブレットPCの完全配備となった2学期から研修会等を行いながら積極的な活用を進めてきたことにより、多様な活用ができるようになってきている。【再掲】 ②学習内容に応じて、日常的に対話的な学習活動を取り入れたことにより、話し合いがスムーズにできるようになってきている。	3.3	3.3	・これまでの学習に合わせ、タブレット端末が身近にあるものとして予習、復習が容易にできる機器になると良いと思う。 ・対話的な学習活動とICT機器の正しい活用法を更に推進
<b>III 教育を支える体制や環境の整備・充実</b>							
1	<b>教職員の資質向上と働き方改革の推進に努める。</b> ①教職員の資質向上と働き方改革を推進する校時程の見直し ②学校における業務の見直し	3	3	①校時程については、本年度見直しを行った。次年度に本格的な運用を進めていく予定である。 ②業務によって廃止したり簡略化したりしたことで、授業準備等の時間に充てることができるようになった。今後も見直しを行っていききたい。	3.0	3.0	・取組に期待している。 ・校時程変更について、児童の反応・評価を今後考慮してほしい。
2	<b>安全、安心な教育環境の整備・充実をめぐる。</b> ①緊急時の避難体制の整備 ②交通安全指導の徹底 ③校内の安全整備	3	3	①保護者への児童引き渡し訓練を含め、各種避難訓練を計画通りに実施することができた。 ②自転車の乗り方や歩行場所について、地域の方から改善要望が入っており、今後も継続的な指導を行っていく。 ③安全点検については、計画的に実施し補修等を行うことができた。	3.0	3.0	・避難訓練や危険な場所など、児童自身が把握する必要があると思う。 ・児童引き渡し訓練はぜひ継続 ・地域・学校共同の訓練も行いたい。
<b>IV 文化やスポーツに親しむ社会づくりの推進</b>							
1	<b>学校体育の推進に努める。</b> ①体育学習の充実 ②運動の習慣化 ③望ましい生活習慣の定着化	3	3	①体育の時間における運動量確保に努めてきた。また、体育専門指導者を招聘し指導してもらったことで、児童の技能向上に加え、教員の指導力向上にもつながった。 ②毎朝のさわやか体操を計画的に実施することができた。また、昼休みの外遊びについては今後も奨励していきたい。 ③学校保健委員会は新型コロナウイルスの関係で開催できなかったが、保護者への文書による協力依頼を通して取組自体は進めることができた。	3.0	3.0	・健康づくりと結びつけたスポーツを、親子・家族で実践することで、体力向上につながると思う。 ・自身の体力を知るとともに、多くの「できる、できた」の楽しみを体験してほしいと思う。 ・体を動かすことが楽しくなる工夫